



世界陸上でウガンダ選手がメダル獲得!



こんにちは。日本はすっかり秋でしょうか。涼しくなり、勉強やスポーツもしやすくなっていることと思います。8月22日から30日に北京で世界陸上が行われました。テレビでご覧になったでしょうか? 長距離種目といえばケニアやエチオピアの選手が有名ですが、ウガンダの選手も活躍していました。今回はウガンダの陸上選手について紹介します。

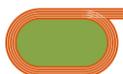
男子マラソンでムタイ選手が銅メダル!



写真: Wikipedia, Solomon Mutai

男子マラソンでウガンダのソロモン・ムタイ選手が2時間13分30秒で銅メダルを獲得しました。ちなみに金メダルはアフリカ北東部の小国・エリトリア出身の19歳、ゲブレスラシエ選手。エリトリア初の金メダルでした。

日本は銅メダル1、入賞



男子50キロ競歩の谷井孝行選手が3時間42分55秒で銅メダルに輝きました。日本勢で競歩のメダル獲得は五輪、世界選手権を通じて初めてでした。入賞は同じく男子50キロ競歩の荒井広宙選手の4位と女子マラソンの伊藤舞選手の7位でした。前回のモスクワ大会では「メダル1、入賞7」だったので、来年のリオデジャネイロ五輪にむけて不安が残る結果でした。

ケニアとジャマイカが金メダル7個と最多!

海外勢ではケニアとジャマイカが最多の金メダル7個を獲得しました。ケニアは男子やり投げと男子400メートル障害でも頂点に立ち、長距離種目以外でも存在感を示しました。ジャマイカはウサイン・ボルト選手が金メダル3個を獲得。史上初の2大会連続3冠を達成しました。

写真: 朝日新聞 DIGITAL, 競歩で日本勢初メダル 世界陸上
男子50キロ、谷井が銅

ウガンダの英雄キプロティチ！



写真：IAAF Athletics
ATHLETE PROFILES Stephen Kiprotich

ウガンダの陸上選手といえばスティーブン・キプロティチ（Stephen Kiprotich）選手です。まだ26歳ですが、2012年ロンドンオリンピック、2013年世界陸上モスクワ大会の男子マラソンで優勝しました。ゲザハン・アベラ（エチオピア）選手以来史上2人目の五輪、世界陸上選手権での男子マラソン優勝でした。今回の世界陸上北京大会は男子マラソンで6位。惜しくもメダルはなりませんでした。3大会連続入賞と素晴らしい結果を残しました。

キプロティチ選手のすごさは勝負強さ！



種目	世界記録	日本記録	キプロティチ選手
5000m	12分37秒35	13分08秒40（大迫傑）	13分23秒70
10000m	26分17秒53	27分35秒09（高岡寿成）	27分58秒03
ハーフマラソン	58分23秒	1時間00分25秒（佐藤敦之）	1時間01分15秒
フルマラソン	2時間02分57秒	2時間06分16秒（高岡寿成）	2時間06分33秒（ウガンダ記録）

キプロティチ選手の自己ベストは日本記録より遅いですが、現在の日本トップレベル選手と大差ありません。夏の暑さに強く、ハートの強さと勝負勘がとてつもない選手です。オリンピックや世界陸上は暑い時期です。記録よりも勝負重視になりがちです。レースに柔軟に対応でき、ここぞという場面で前に出る勝負強さをキプロティチ選手は持っており、結果も出しています。ちなみに彼がマラソンで自己ベストを出したのは今年の東京マラソンで、**2時間06分33秒の記録はウガンダ記録**になっています。

世界記録はどんどん高速化していますが、キプロティチ選手、上記のムタイ選手などウガンダ選手のように勝負強さを身に付けられれば、日本人選手も世界で勝負できると私は思います。

あとがき

私の家にはテレビがないので、世界陸上はインターネットで楽しみました。ウガンダにいることもあり、ウガンダ選手の活躍は日本選手と同じくらい嬉しかったです。ケニアやエチオピアと比べるとまだまだ知名度は低いですが、来年のリオデジャネイロオリンピックではウガンダ選手にも注目してもらえたら嬉しいです。

